

8/15 木 晴

コロナ新規入院増加

厚生労働省が14日発表した「医療機関等情報支援システム」(G-MIS)のデータによると、直近1週間(7月31日～8月6日)の新型コロナワ

ルス感染症の新規入院患者は前週比655人増の1万1801人へと引き続き増加しています。集中治療室(I-CU)の新規入院患者も前週比14人増の172人となりました。

(いずれも速報値)
5類移行以来、同省は感染の全数調査を取りやめ、全国約5000の医療機関の報告に基づく「定点把握調査」を実施するにとめています。同調査による新規感染者の報告は前週比565人

減の7万7937人と、5類移行後初めて減少に転じました。しかし、全国の定点当たりの新規感染報告は15・81人と依然高水準です。

定点当たりでは佐賀県が34・69人と3週連続で1位。総数では東京都が4750人と2週連続で第1位となりました。

新規感染者は微減とはいえ横ばい状態で、顕著な減少とはいえないままです。新規入院患者の増加が引き起こす医療逼迫への自治体の警戒が続いています。新たな変異株の出現などによっては、夏の行楽シーズン中に感染が再拡大する可能性は否定できません。

と、5類移行後初めて減少に転じました。しかし、全国の定点当たりの新規感染報告は15・81人と依然高水準です。

定点当たりでは佐賀県が34・69人と3週連続で1位。総数では東京都が4750人と2週連続で第1位となりました。

新規感染者は微減とはいえ横ばい状態で、顕著な減少とはいえないままです。新規入院患者の増加が引き起こす医療逼迫への自治体の警戒が続いています。新たな変異株の出現などによっては、夏の行楽シーズン中に感染が再拡大する可能性は否定できません。